

測量士・測量士補通信添削講座 測量士補コース ガイダンス

公益社団法人 日本測量協会

この度は、公益社団法人日本測量協会の通信添削講座をお選び頂きまして、ありがとうございます。
学習を開始する前に、こちらのガイダンスをお読み下さい。

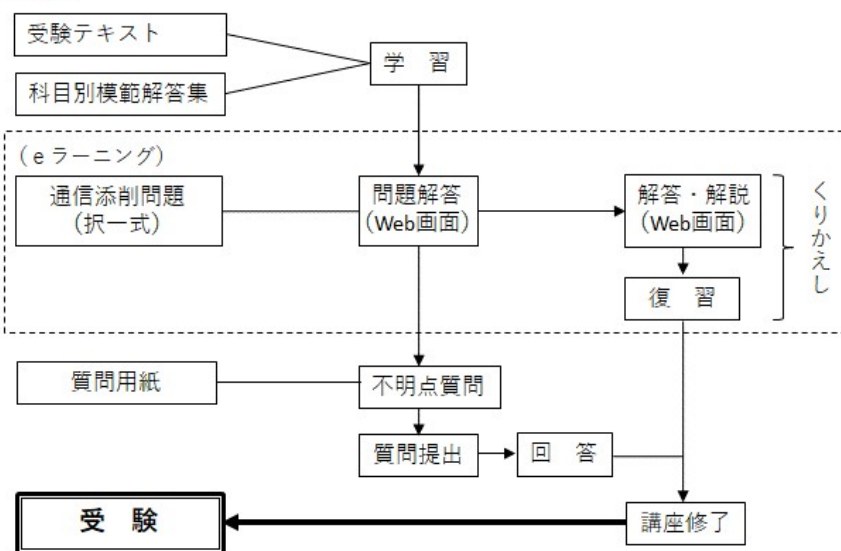
合格への指針

-  **1. 学習計画を立てる**
国家試験に合格するには、最初に学習計画を立て、毎日少しずつでも休まずに勉強するよう心がけましょう。
-  **2. 基礎知識の習得と新傾向および過去の出題傾向をつかむ**
「受検テキスト」で合格に必要な基礎知識の習得と最近の出題傾向を把握し、「科目別模範解答集」で国家試験の過去問を把握しましょう。
-  **3. 解答は遅れても提出する**
添削問題の解答は、遅れても必ず解答・提出するよう努力しましょう。
-  **4. 必ず復習する**
解答・解説または添削結果を参考にして必ず復習しましょう。7割マスターが合格ラインです。

★ 講座の進め方

添削問題(択一式)は、日本測量協会eラーニングシステム(JAS eラーニング)を使用し解答してください。なお、添削問題(択一式)の解答後は、JAS eラーニングによる解答・解説(Web画面)を参照し、復習して下さい。また、不明な点は専用の‘質問用紙’にてお尋ね下さい。

[教材]



(注) JAS eラーニングを使用した解答ができない場合は測量技術教育部へご相談ください。

★ 学習計画

「通信添削問題」に提出目標日の表がありますので、これを参考に学習計画を立てて下さい。
なお、通信添削講座の終了日は5月31日となります。終了日まで「通信添削問題」に解答または質問用紙を郵送してください。

(注) 通信添削講座の終了日を過ぎて解答用紙または質問用紙を提出(郵送)された場合、添削指導後の解答用紙および質問用紙の返送はいたしません。通信添削講座の学習期間内にすべての添削問題に解答・提出するよう努めてください。また、規定の点数(65点)に満たない場合の再提出につきましても、5月31日必着で日本測量協会測量技術教育部に提出してください。

★ 教材

§ 受験テキスト

7科目について基本的事項から応用まで解説してあります。
このテキストで学習を進め、添削問題を解答して下さい。

§ 国家試験問題模範解説集(R7)および科目別模範解答集(R2-R6)

前年(R7)の国家試験問題・解説および過去5年間(R2-R6)の国家試験問題・解説(科目別)から頻出問題の傾向を把握し、過去問題と解説を繰り返し学習して下さい。

§ 通信添削問題集

過去の出題傾向から作られた国家試験の模擬問題です。

(注) 国家試験の科目は変更されましたが、教材にはそれぞれの科目が盛り込まれています。
科目: 測量に関する法規、汎地球測位システム測量、地理情報システム

§ 通信添削問題解答(JAS eラーニングまたは郵便)

添削問題(択一式)は、JAS eラーニングにより解答してください(別添「日本測量協会通信添削講座 JAS eラーニングシステム操作ガイド」を参照ください)。ただし、JAS eラーニングによる解答ができない場合は、解答用紙(択一問題用)を使用し、解答を記入して郵送してください。解答用紙(択一問題用)の解答方法は、解答欄の該当する ☐ を塗りつぶし、その下の記述欄には、計算過程や説明を記入して郵送して下さい。

解答用紙を郵送する場合は、郵便番号、住所、氏名、受講番号を忘れずご記入ください。
記入を忘れると添削済の解答および解説が返送(郵送)できません。

解答用紙(択一問題用)解答記入例

住所	123 4567 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目2-3 〇〇〇〇〇マンションI-203	多 角 測 量	
		No. 1 解 答 用 紙	
氏 名	測 量 太 郎 殿	受 講 番 号	評 点
		士 補 321	

住所・氏名・受講番号は、一枚一枚楷書で記入して下さい。
未記入の場合は返送出来ない場合があります。

1	2	3	4	5
		<input checked="" type="text"/>		

(文章問題の例) 気象補正は必要ない。→ 気象補正は必要である。

キリトリ

1 1 2 - 0 0 0 2

切手

像

坂

鏡

鏡

育

盆

バ
ー
タ

ト
森

襦

ザ
ウ

階

係

E-Mail tensaku@jsurvey.jp